

新図書館西敷地定期借地権設定 議会の議決が必須に

市有地への定期借地権の設定については市長の権限であり、市長の判断での設定が可能ですが、地方自治法第96条第2項の「条例で普通地方公共団体に関する事件につき議会の議決すべきものを定めることができる」との規定に基づき、中心市街地活性化基本計画の計画区域内に限って定期借地権を設定することについて、議会の議決が必要となるよう、議員提案で条例改正を行いました。

これにより、4月1日以降に新図書館西敷地に定期借地権を設定しようとする場合には、議会の議決が必要となりました。

条例改正議案 提案理由説明要旨

本議案は、高知市中心市街地活性化基本計画の計画区域内の市有地、すなわち、新図書館西敷地に定期借地権を設定することについて議会の議決を要することとするため、「地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件を定める条例」の一部を改正しようとするものである。

定期借地権の設定を議会の議決すべき事件とすることについては、東京都渋谷区や東京都豊島区で庁舎整備に当たり、民間との連携を図るため定期借地権

制度を活用しようと、いずれも執行部からの提案で議会の議決すべき事件とされた事例がある。

新図書館西敷地利活用事業は、新図書館西敷地への定期借地権の設定により、事業実施者が提案に基づく施設の設計、建設、維持管理および運営を行うものであり、基本的には、高知市の歳出予算を伴わないため、いったん事業が開始されれば、予算上は、歳入予算のみが計上されることとなり、議会のチェックは及ばないことから、事業の開始前に十分な精査を行わなければならない。

しかしながら、現在行われている市と新図書館西敷地利活用事業プロポーザル選定委員会での審査結果を基に決定された優先交渉権者との間で事業実施に向けた協議が整えば、事業実施者が決定され、新図書館西敷地利活用事業が実施されることになる。

同敷地は、旧追手前小学校の跡地で、中心市街地にある貴重な公有財産である。これに定期借地権が設定されれば、最長50年間借地として事業実施者の占有を許すこととなることから、より慎重な事業の精査が求められるが、このままでは、市民の代表である議会の意思が介在す

ることなく事業が展開されることとなる。

本議案は、新図書館西敷地利活用事業についての賛否を問うものではない。議会として、同事業に議決という形的意思表示

31年度中の本格運用を計画 ふれあい収集が試行されます

本市では、家庭ごみを指定ごみステーションに持ち出すことが困難な高齢者、障害者などの世帯のうち希望する世帯に、戸別収集や安否確認を行うふれあい収集について、平成27年度から環境部内の検討委員会で協議を重ねてきました。

その結果、31年度中の本格運用に向けて、今年度から試行されることとなりました。

問 ふれあい収集の対象世帯や収集方法、試行の時期、周知

の機会を設けようとするものである。

本議案は、総務委員会の審査を経て、賛成多数で可決されました。

答 今回の試行では、市内在住の高齢者や要介護1以上の認定を受けている世帯、身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳、療育手帳のいずれかの交付を受けている世帯のうち、可燃ごみやプラスチック製容器包装を世帯員自らが持ち出すことが困難であり、親族や近隣住民等の協力を得ることができない世帯を対象に、週1回、これらのごみを同時に収集していく予定

方法について聞く。

今後はスケジュールについては、平成30年夏に募集を開始し、10月をめどに高齢化率が高い長浜、浦戸、御畳瀬地区から先行して始め、課題を整理しながら順次対象地域を拡大していき、市域全域での31年度中の本格運用につなげていくことを計画している。

市民への周知については、適切な時期に市ホームページやかるいまちに掲載するほか、町内会や民生委員児童委員協議会連合会などを通じて行っていく。

NHKで放送されている「猫のしっぽカエルの手」の主人公ベニシア・スタンリー・スミスさんは、私と同じ年です。

ベニシアさんは、19歳でイギリスの貴族社会を飛び出し、インドを経て日本にたどり着き、英語教師をしながら子育てをし、1996年に京都大原に移り、築百年の古民家に住み始め、ハーブや四季の草花を育て、日本人が代々受け継いできた暮らしを大切に守りながら生きています。

私の家族の今年は、孫娘の高



小さな幸せが隣にあることに気づかされ、励まされます。そして同時に思つのです。一人ひとりが小さな幸せを見つけられているのかな、と。



人には共感し、思いやる心、想像する心があり、何より考える力を持っています。ベニシアさんが自然と共生し、暮らしているのも、何か「平和」だからこそです。お金があれば何でも手に入る社会は、裏を返せば、お金がなければとても生きづらい社会といえます。

日本は、今本当に豊かな社会と言えるでしょうか。一人ひとりに明日のある社会を目指しているでしょうか。ベニシアさんにもお聞きしたい私です。

(議会議報委員 岡崎邦子)